



内容目次

- ・さんむ医療センター研修会
- ・春の病気は意外と多い
- ・インフォメーション
- ・外来診療表



発行元 地方独立行政法人さんむ医療センター
広報編集委員会
<http://www.sanmu-mc.jp/>

さんむ医療センターで働く若手の先生のお話を聞いてみませんか！

さんむ医療センター研修会

日時 2016年3月18日(金) 16:00~18:00
会場 南棟6階 大会議室
テーマ 「正しい健康情報の読み解き方」
講師 高橋 亮太先生

世の中にあふれる健康情報について、それが本当に正しい情報なのか、それとも正しくない情報なのか、「それって本当？」と疑問に思うことってありますよね。

それを考える際の一つの手掛かりになるのが、「疫学研究の結果」です。疫学というと、やや難解な内容と感じられるかもしれませんが、どのような生活習慣をすれば病気になりやすいのか、もしくは、病気を防ぐことができるのか、それを明らかにするための学問が疫学です。間違った情報に躍らされることなく、正しい情報に基づいた正しい行動がとれるようになるきっかけになればと思います。

—お問い合わせ・お申込み先—

《さんむ医療センター 地域医療連携室》

電話 0475-82-2521(代) F A X 0475-80-1738

《地域医療を育てる会》

<http://iryousodateru.com> (HPをご覧ください。)

春の病気は意外と多い

春は寒暖の差が大きいので体調を崩しやすく、また紫外線が強くなり一年で一番風が強い季節です。全身の細胞が冬から夏モードへと変化する過渡期。身体の不調も多くなる季節です。

春になりやすい病気

花粉症：スギやヒノキなどの植物の花粉が原因となって、くしゃみ・鼻水などのアレルギー症状を起こす病気。季節性アレルギー性鼻炎とも呼ばれています。アレルギー性鼻炎は、原因物質（アレルゲン）の種類によって2つに分類されます。

百日咳：発作性けいれん性の咳が長期にわたって持続するのが特徴。年間を通じて発生するが、春から夏にかけてやや多くなるので注意が必要です。

麻疹：毎年春から初夏にかけて流行。平成20年より5年間、中学1年相当、高校3年相当の年代に2回目の麻しんワクチン接種を受ける機会を設けたことなどで、平成21年以降10～20代の患者数は激減しました。患者発生の中心は0～1歳となった一方で、20歳以上の成人例の割合も増加しています。

風疹：風しんとは、発熱・発しん・リンパ節腫脹などを主症状とするウイルス性の疾患です。一般的には「三日はしか」とも呼ばれています。数年ごとに流行し、春から初夏にかけて多くみられます。

春でもノロやロタに注意

冬季は小児を中心に、初冬はノロ、初春はロタが毎年流行しています。またノロは冬～春の集団食中毒感染患者の約9割から検出されます。

インフォメーション

1. 休診について (2/29 現在)

3月10日(木)	内科	坂本医師休診
3月10日(木)	整形外科	安部医師→金塚医師に変更
3月11日(金)	産婦人科	神下医師休診
3月17日(木)	整形外科	安部医師休診
3月17日(木)	歯科口腔外科	金沢医師休診
3月18日(金)	内科	中野医師休診
3月18日(金)	整形外科	葛城医師休診
3月24日(木)	整形外科	安部医師→金塚医師に変更
3月25日(金)	整形外科	遠藤医師休診
3月31日(木)	整形外科	阿部医師休診

(変更する場合があります。休診等の情報は、北棟1階の掲示板をご覧ください。)

2. 救急外来について

救急外来で診察を希望される方は、直接来院される前に、必ずお電話で診察が受けられるかご確認下さい。

入院中の患者様の診察など他の業務により、お断りする場合やしばらくお待ち頂く場合もありますので、予めご了承下さい。ご協力とご理解をお願い致します。なお、当日の精算は出来ません。

・会計にて一時預かり金をしています。

お問い合わせ先

地方独立行政法人

さんむ医療センター 地域医療連携室

住所：〒289-1326 千葉県山武市成東 167 番地

TEL：0475 (82) 2521 FAX：0475 (82) 3354

